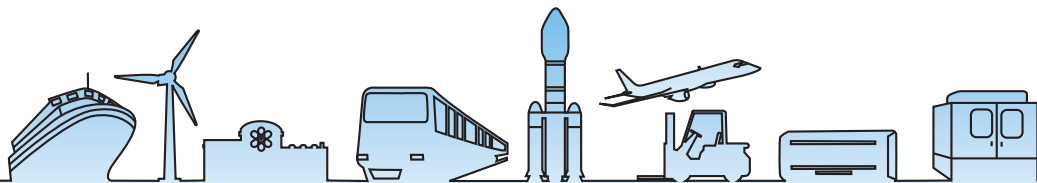


平成23年度 **中間報告書**

(第1四半期・第2四半期)



この星に、たしかな未来を

証券コード 7011

概況

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

東日本大震災により被災されました皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

平成23年度第2四半期連結累計期間の概要についてご報告申し上げます。

取締役会長 佃 和夫

取締役社長 大宮英明

1. 経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先進国の景気が、財政・金融不安や厳しい雇用状況等により緩やかな回復に留まりましたが、中国等の新興国では減速感がありながら依然高い成長率を維持していることから、全体として堅調に推移しました。

我が国経済は、東日本大震災で大幅に落ち込んだものの、予想以上の速さでサプライチェーンの復旧等が進み、回復基調にあります。長引く円高や世界経済の減速懸念等によって、先行きは予断を許さない状況にあります。

2. 連結経営成績の概要

このような中、当第2四半期連結累計期間の当社連結業績は、受注高が1兆4,031億円、売上高は1兆2,936億円、営業利益は731億円、経常利益は456億円、税金等調整前四半期純利益は714億円となりました。また、税金等調整後の四半期純利益は398億円となりました。

当年度の中間配当金につきましては当第2四半期までの累計決算実績及び年間の業績見通しを考慮し、平成23年10月31日の取締役会の決議により、1株につき3円の配当とし、平成23年12月5日からお支払いを開始することとさせていただきます。

【連結受注高・売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益】

	平成22年度 第2四半期累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)	平成23年度 第2四半期累計期間 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)
受注高	12,010億円	14,031億円
売上高	13,568億円	12,936億円
営業利益	645億円	731億円
経常利益	434億円	456億円
四半期純利益	173億円	398億円

部門別の概況

(単位：億円)

	受 注		売 上		営業損益		特 記 事 項
	平成22年度 第2四半期累計期間	平成23年度 第2四半期累計期間 ()は対前年 同期増減	平成22年度 第2四半期累計期間	平成23年度 第2四半期累計期間 ()は対前年 同期増減	平成22年度 第2四半期累計期間	平成23年度 第2四半期累計期間 ()は対前年 同期増減	
船舶・海洋	462	248 (△214)	1,502	1,584 (+81)	58	△10 (△68)	受注 ……新造商船の受注環境は、厳しい状況が続いており、当期の受注は、前年同期を下回った。 ただし、客船2隻及び大阪ガス/商船三井向けLNG船2隻を11月に正式契約済みで、LNG需要の高まりに伴うLNG船の商談に引き続き注力している。 売上 ……当期は、自動車運搬船5隻、コンテナ船3隻、VLCC2隻、RO-RO船1隻、巡視船3隻の合計14隻を引渡した。 営業損益 ……円高の進行や受注工事損失引当額の影響等により、前年同期から減益となった。
原 動 機	4,802	6,492 (+1,690)	4,563	4,422 (△140)	480	626 (+146)	受注 ……海外の石炭焼き発電プラントの大型商談や、国内の電力不足対応のGTCCを受注したことなどにより、前年同期を上回った。 受注環境は競争激化や円高の進行により厳しさを増しているが、新興国を中心に火力発電プラント等の商談が活発化しており、これらの受注に向け積極的に取り組んでいる。 売上 ……売上は、震災の影響で原子力の定検工事の納期が繰り下がったこと等により前年同期を下回った。 営業損益 ……円高が減益要因となったが、海外プラント工事の採算改善が進んだこと等により、前年同期を上回った。
機械・鉄構	2,047	2,886 (+838)	3,021	1,766 (△1,254)	203	76 (△126)	受注 ……マレーシア向け化学プラントや、インド向け製鉄機械等の受注により、前年同期を上回った。 今後の伸長が見込まれるLNGプラントなどのガス分野向けのコンプレッサや、アジア向けの交通システムなどの商談に、積極的に営業活動を展開している。 売上 ……前年同期に売上規模が大きかった化学プラント、交通システムが減少したこと等により、前年同期を下回った。 営業損益 ……事業の再構築は進んでいるものの、大幅な売上減少に加え、円高の影響により、前年同期から減益となった。
航空・宇宙	1,884	1,306 (△578)	1,784	2,088 (+303)	△46	△27 (+19)	受注 ……前年同期には民間航空機の大型受注案件があったこともあり、前年同期を下回った。 売上 ……売上は、防衛関係、民間航空機が増加したことにより、前年同期を上回った。 営業損益 ……円高が減益要因となったが、売上増加による増益効果等により、前年同期から赤字幅が縮小した。
汎用機・特殊車両	1,520	1,747 (+226)	1,590	1,861 (+271)	△81	4 (+86)	受注/売上 ……中国向け建設機械搭載用小型エンジンや、国内非常用発電セットが増加した。 北米・中南米向けフォークリフトや、欧州・国内自動車メーカー向けターボチャージャーも増加し、前年同期を上回った。 営業損益 ……円高の影響を受けたものの、売上増加による増益効果に加え、強みのある機種への絞込み等の採算改善活動の加速により、黒字となった。
冷 熱 工 機 そ の 他	836 210 412	877 311 384	812 162 385	855 224 339	4 △2 30	16 11 33	受注/売上 ……(冷熱) ルームエアコン、パッケージエアコン等の増加により前年同期を上回った。 (工機) 需要が回復してきた歯車機械を中心に好調に推移し、前年同期を上回った。 営業損益 ……(冷熱) 売上増加による増益効果等により、前年同期を上回った。 (工機) 売上増加による増益効果に加え、原価低減活動の推進等により、前年同期から改善した。
そ の 他	1,459	1,574 (+115)	1,359	1,419 (+59)	32	61 (+28)	

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)
(上記部門以外の「消去又は共通」は省略)

四半期連結決算の概要

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

資産の部	平成22年度末	平成23年度
	(平成23年3月31日現在)	第2四半期末 (平成23年9月30日現在)
流動資産	25,756	25,900
現金預金	3,010	1,643
売上債権	8,526	7,857
たな卸資産	11,162	11,359
繰延税金資産	1,618	1,693
その他流動資産	1,438	3,345
固定資産	14,133	13,294
有形固定資産	8,615	8,135
無形固定資産	251	269
投資その他の資産	5,266	4,889
投資有価証券	3,212	2,980
繰延税金資産	108	125
その他	1,945	1,783
資産合計	39,890	39,194

(平成22年度末) (平成23年度第2四半期末)

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 17,203億円 17,471億円

負債及び純資産の部	平成22年度末	平成23年度
	(平成23年3月31日現在)	第2四半期末 (平成23年9月30日現在)
流動負債	15,340	15,635
買入債務	6,191	5,660
短期借入金	2,966	3,076
前受金	3,302	3,761
その他流動負債	2,880	3,136
固定負債	11,422	10,269
社債	3,300	2,800
長期借入金	6,849	6,201
繰延税金負債	36	53
その他固定負債	1,236	1,215
負債合計	26,763	25,905
株主資本	12,792	13,124
資本金	2,656	2,656
資本剰余金	2,039	2,039
利益剰余金	8,151	8,482
自己株式	△ 54	△ 54
その他の包括利益累計額	△ 171	△ 329
その他有価証券評価差額金	255	125
繰延ヘッジ損益	△ 4	△ 29
為替換算調整勘定	△ 423	△ 426
新株予約権	15	15
少数株主持分	491	479
純資産合計	13,126	13,289
負債及び純資産合計	39,890	39,194

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

	平成22年度	平成23年度
	第2四半期累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	第2四半期累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
売上高	13,568	12,936
営業費用	12,922	12,204
営業利益	645	731
営業外収益	113	82
営業外費用	325	358
経常利益	434	456
特別利益	28	280
特別損失	62	22
税金等調整前四半期純利益	400	714
法人税等	233	317
少数株主利益 (△は損失)	△ 7	△ 1
四半期純利益	173	398

(平成22年度第2四半期累計期間) (平成23年度第2四半期累計期間)

(注) 1株当たり四半期純利益 5円18銭 11円89銭

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

	平成22年度	平成23年度
	第2四半期累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	第2四半期累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,089	1,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 782	△ 261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 905	△ 885
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 53	△ 17
現金及び現金同等物の増減額	348	△ 98
現金及び現金同等物の期首残高	2,613	2,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,954	2,790

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

会社の概要

概要

社名	三菱重工業株式会社	資本金	265,608百万円 (平成23年9月30日現在)
本社	東京都港区港南二丁目16番5号 〒108-8215 電話番号03-6716-3111	従業員数	33,221名 連結：69,347名 (平成23年9月30日現在)
創立	明治17年7月7日	ホームページ	http://www.mhi.co.jp
設立	昭和25年1月11日		

役員

(平成23年9月30日現在)

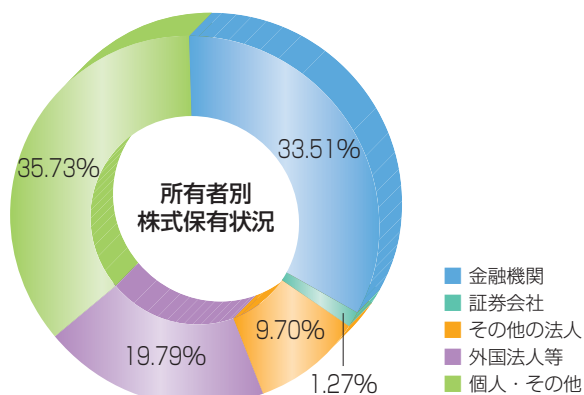
* 取締役会長	佃 和夫	常勤監査役	八坂直樹
* 取締役社長	大宮英明	常勤監査役	矢神俊郎
* 取締役副社長執行役員	宮永俊一	監査役	野村吉三郎
* 取締役副社長執行役員	佃 嘉章	監査役	畔柳信雄
* 取締役常務執行役員	河本雄二郎	監査役	上原治也
* 取締役常務執行役員	原 壽	執行役員	伏屋紀昭
* 取締役常務執行役員	阿部 孝	執行役員	山内 澄
* 取締役常務執行役員	菱川 明	執行役員	吉田 慎一
* 取締役常務執行役員	西澤隆人	執行役員	平本康治
* 取締役常務執行役員	和仁正文	執行役員	岩松茂喜
* 取締役常務執行役員	前川 篤	執行役員	児玉敏雄
* 取締役常務執行役員	正森滋郎	執行役員	堀口幸範
* 取締役常務執行役員	小林 孝	執行役員	相馬和夫
取締役執行役員	有原正彦	執行役員	藤原彰彦
取締役執行役員	水谷久和	執行役員	山崎育邦
取締役執行役員	鯨井洋一	執行役員	花田 剛
取締役	和田明広	執行役員	馬淵洋三郎
取締役	坂本吉弘	執行役員	井須英次
取締役	小島順彦	執行役員	廣江陸雄
		執行役員	船戸 崇
		執行役員	小池伸彦
		執行役員	野島龍彦
		執行役員	門上 英
		執行役員	星野直仁
		執行役員	岩崎啓一郎
		執行役員	橋本州史
		執行役員	大仲輝昌
		執行役員	樹 神幸夫

(*印は代表取締役)

株式の状況

(平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	6,000,000,000株
発行済株式総数	3,373,647,813株
株主数	344,495名



● 最近の主なニュースとお知らせ

J形ガスタービン世界最高の入口温度を達成

当社高砂製作所（兵庫県高砂市）内で行われた実証運転で、最新鋭J形ガスタービンが、世界最高のタービン入口温度1,600℃を達成しました。コンパインドサイクル発電の場合、発電端熱効率は世界最高水準の60%以上を達成し、従来型石炭焚き火力発電と比べCO₂排出量を約50%低減することができます。当社はJ形ガスタービンの製造を通じて低炭素社会の実現に向けて貢献してまいります。



J形ガスタービン

世界最長の無人運転鉄道が開業

当社が無人自動制御システム、受変電設備、軌道設備を含む鉄道システム一式の供給を担当し、アラブ首長国連邦（UAE）のドバイに建設していた全自動無人運転鉄道システム「ドバイメトロ」の第2期工事であるグリーンラインが、9月9日に開業しました。平成21年9月に開業したレッドラインと合わせると総延長75kmとなり、ドバイの都心部を網羅することによって、急激な人口増加に伴う交通渋滞解消に大きな役割を果たしてまいります。



ドバイメトロ

● 当社施設の紹介～皆様のご来館をお待ちしております～ ●

三菱みなとみらい技術館へのご招待

明日を担う青少年たちが科学技術に触れ、夢を膨らます場となることを願い開設された三菱みなとみらい技術館は、平成6年の開館以来、計180万人以上のお客様をお迎えています。航空宇宙、海洋、環境・エネルギーなどをテーマとした様々なゾーンで参加体験型の展示をお楽しみください。

◆皆様のご来館をお待ちしております。

所在地：横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 三菱重工横浜ビル内
アクセス：みなとみらい線「みなとみらい」駅5番けやき通り口より徒歩3分
JR根岸線／横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩8分
開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始及び特定休館日（平成23年12月29日（木）～平成24年1月4日（水）、2月14日（火）～17日（金）及び3月6日（火））

お問い合わせ：電話番号 045-200-7351
ホームページ：<http://www.mhi.co.jp/museum/>



三菱みなとみらい技術館へのご招待券
有効期限：平成24年3月31日
（お一人一回）※同伴者のみ有効
本券を所持する場合は、本館へのご来館が可能です。

長崎造船所史料館へのご案内

日本最古の工作機械や我が国最初の国産陸用蒸気タービン、「創業者岩崎彌太郎の生涯」とそれに続く岩崎家3代社長による「三菱のあゆみ」や「三菱の経営理念」などを展示した岩崎家コーナーなど、安政4年（1857年）に長崎造船所前身の長崎鋸所建設が着手されたときから現在までの900点あまりの史料を展示しています（入場無料、要予約）。

◆皆様のご来館をお待ちしております。

所在地：長崎市飽の浦町1番1号
アクセス：【バス】長崎駅から立神、西泊、神の島行きのバスで「飽の浦」下車、バスの所要時間は約15分 【タクシー・自家用車】長崎空港から約50分 長崎駅前から約10分（自家用車で来館される場合は、三菱病院駐車場（有料）をご利用ください。）なお、お越しの際は「史料館門」よりご入場ください。
開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
休館日：土・日、祝日及び長崎造船所休業日
ご予約・お問い合わせ：電話番号 095-828-4134



長崎造船所史料館は入場無料です。
ご来館の際は事前にご予約をお願いいたします。
電話予約 095-828-4134

工場見学会のご案内

第15回工場見学会を下記のとおり栗東製作所（滋賀県栗東市）で開催いたします。
多くの皆様のご応募をお待ちしております。

見学会概要

・見学場所 栗東製作所（滋賀県栗東市）

当製作所は、自動車・建設機械関連産業やエネルギー・インフラ設備を支える工作機械、精密切削工具及びエンジンバルブなどの生産・販売拠点として世界の「ものづくり」に貢献しています。また、インドでの工具製造会社の事業拡大や中国での歯車機械製造会社の稼働開始など、成長著しいアジア市場をはじめとして、世界各地の製造・販売・サービス拠点とも連携し、グローバルな事業展開を図っています。



・実施日時 平成24年3月9日（金） 13:00～17:30（予定）

・対象者 当社株主の方（同伴者1名様まで可）

・集合・解散 JR琵琶湖線 南草津駅（予定）

・参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）

応募要領

・応募方法 右記のとおり郵便はがきに必要な事項をご記入の上、ご応募ください。

・締切日 平成23年12月31日（土）（当日消印有効）

・募集人数 80名様（同伴者を含む）

※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。

また、複数枚ご応募いただいた場合は1件とさせていただきます。

厳正な抽選の上、当選発表につきましては当選者へのご連絡（1月下旬発送予定）をもって代えさせていただきます。

その際、当日の運営等詳細を併せてご連絡いたします。

※ご応募により当社が取得する個人情報、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。

※ご見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間程工場内をお歩きいただくこともございますのでご了承ください。
なお、ご高齢の方及び小学生以下の方のご参加の際には、同伴者をお願いする場合があります。

郵便はがき	
50円 切手	1088215
三菱重工業(株) 総務部・文書課 工場見学会係行	東京都港区港南 一丁目16番5号

あて名面

●郵便番号
●住所
●電話番号
●氏名 (ふりがなをご記入ください。)
●性別
●年齢
●同伴者の氏名、性別、 年齢、住所

裏面

お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 総務部 文書課

電話番号：03-6716-3111（大代表）

8:45～17:30（土・日、祝祭日、当社休日を除く）

東日本大震災に伴う当社グループの対応について

当社では地震発生直後から、様々な支援を実施してまいりました。最近では、一般社団法人東北漁業再開支援基金・希望の烽火からのご依頼で20台のフォークリフトを東北被災地の宮古市（8月30日に7台）、気仙沼市（9月2日に8台）、石巻市（9月9日に5台）へ寄付しました。

同基金は被災地域の漁業早期復興を支援しており、当社もその趣旨に賛同してフォークリフトの寄付を決定し、汎用機・特車事業本部の関係者の努力で短期間に整備し出荷することができました。各地での引渡式は同基金、市役所や漁業関係者が出席され皆様から感謝の言葉をいただきました。これらフォークリフトは今後漁業関係者による漁業の本格復興を支えていきます。



【9月9日 石巻市での引き渡し】

他にも、以下のような取り組みを重ねてまいりました。

- 被災地への支援……………東北物産展、社員ボランティア派遣、医療活動、被災者への当社施設提供、義援金・募金等
 - お客様への支援……………電力会社向けに復旧要員の派遣、ガスタービンや産業用発電設備など発電設備の早期納入に向けた対応強化等
 - 夏季ピーク電力削減対策
- これからも、一日も早い復興に向けて、支援を続けてまいります。

震災における当社グループの対応、重要なお知らせにつきましては下記URLからご確認ください。

http://www.mhi.co.jp/notice/notice_east_japan.html

ホームページ「株主・投資家の皆様へ」はこちらから、
<http://www.mhi.co.jp/finance/index.html>

検索はこちらから、

三菱重工 株主

検索

なお、当社のホームページでは、「株主・投資家の皆様へ」以外でも、経営理念や製品についての詳しい説明を掲載していますので、是非ご覧ください。

株主メモ

- 決算期……………3月31日
- 定時株主総会……………開催期 6月下旬
- 基準日……………定時株主総会議決権行使株主確定日：3月31日
期末配当金支払株主確定日：3月31日
中間配当金支払株主確定日：9月30日
その他の基準日：上記のほか必要がある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定
- 単元株式数……………1,000株
- 公告方法……………電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
※電子公告掲載ウェブサイト <http://www.mhi.co.jp>
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関……………三菱UFJ信託銀行株式会社
- 上記連絡先……………東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先及び電話照会先)
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話番号 0120-232-7111 (通話料無料)

1. 株式に関する各種手続き

- (1) 株券電子化に伴い、株式に関する各種手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求等）は、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録されている株式（証券会社等の口座に振替手続きがお済みでない株式）に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先（郵便物送付先及び電話照会先）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。

【ご注意】

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、三菱UFJ信託銀行の特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要があります。特別口座から証券会社等の口座への振替のお手続きにつきましても、三菱UFJ信託銀行で承ります。

2. 単元未満（1,000株未満）株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式はそのままでは株式市場で売買できませんが、法律上、単元未満株式の買取・買増制度が定められており、株主様は、当社に対して買取（株主様がご売却）あるいは買増し（株主様がご購入）をご請求いただけます。お手続きについては、口座を開設されている口座管理機関（上記1. (1) 及び (2) 参照）にお問い合わせください。なお、買取請求、買増請求の手数料は無料となっております。

①買取制度：ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

②買増制度：ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（1,000株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入（買増し）いただく制度です。

（具体例）株主様が現在652株をご所有の場合、当社を通じて348株をご購入いただき、合計1,000株とすることができます。

